



中部大学春日丘高校 SGHグローバル課題研究 Aカリキュラム 「国際理解学習」

**第1回 体感！ワークショップ～参加型で学ぶためのウォーミングアップ～**

**第2回 体感！ワークショップ～多様な世界と肯定的に出会おう！ 自分と世界のつながりを探ろう！**

**第3回 体感！ワークショップ 世界と自分とのつながり～グローバル化の光と影～**

今年度もSGHグローバル課題研究の授業がスタートしました。国際・啓明コースの第1学年は、SGHの導入として国際理解教育に取り組みます。昨年度から引き続き、参加型ワークショップ形式で10時間、世界の現状を知り、気づき、自ら行動できる人材となるための基盤づくりをしていきます。

カリキュラムAのねらい(全7回 10時間)

- ① 自分たちが生きる社会をふりかえり、人権、環境、開発、共生、平和などの人類共通の課題(=グローバル・イシュー)について学ぶ。
- ② 自分と他者、社会、未来とのつながりに気づき、課題解決やよりよい未来づくりになぜ自分が関わることが必要か学ぶ。
- ③ グローバル・シチズンとして、課題解決とよりよい未来づくりに必要な「自己、他者、社会に関わる力」を育む。

**● 第1回 開催概要** 日時:2019年4月20日(土)

**1 アイスブレイキング～知り合おう！～**

- ① じゃんけんゲーム ② 名前覚えゲーム ③ カードで自己紹介

**2 人の価値観は多様 「4つのコーナー」-自分の考えとは異なる考え=間違い?-**

「はい」「どちらかというとはい」「どちらかというといいえ」「いいえ」の4枚のカードを一人ずつが持ち、ファシリテーターがする質問に対して、自分の意見にもっとも近いカードを出し、その理由を説明する。

★質問

1)犬より猫が好き 2)自分の人生に満足している  
3)いじめはなくなる  
4)目玉焼きには醤油をかける 5)世界を平和にすることは可能だ

話し合いに役立つポイント

- ①暴力禁止(言葉の暴力もダメ)
- ②アサーティブ(非攻撃的自主主張)に話す
- ③傾聴する(少数意見も大切に)
- ④否定や批判ではなく提案型で
- ⑤手も動かす(プロセスを書き残す)

**3 百間は一見にしかず やってみよう！ワークショップ体験**



**仮想ゲーム**  
ある企画会社の開発部精鋭チームである、という設定で、会社から「どこか懐かしい、人に役立つロボット」を、10分で提案することを求められている。合意形成のための話し合いのポイントを元に10分間話し合い、最終的に「ロボットの姿」「ロボットの名称」「ロボットの機能」の3つを、1枚の模造紙にまとめる。

グループで10分間ロボット作りを行った。終了後、ギャラリー方式で他グループの模造紙を見て、よいと思ったロボット(自分のグループ以外)に3ポイント投票し、トップ3を共有する。ファシリテーターは、ワークショップは一人ひとりが場に貢献し、発散と収束を重ね、協力してよりよいものを見いだしていく学び方であることを伝える。

## ● 第2回 開催概要 日時:2019年4月23日(火)

### 1. 多様な世界と肯定的に出会おう「ワールドクイズ」

「ワールドクイズ」…グループに配付した「ワールドクイズ」の20問を、グループで協力して10分で解いた。

### 2. 自分と他者、自分と社会とのつながりをふりかえる「身の回りのものと世界とのつながり探し！」

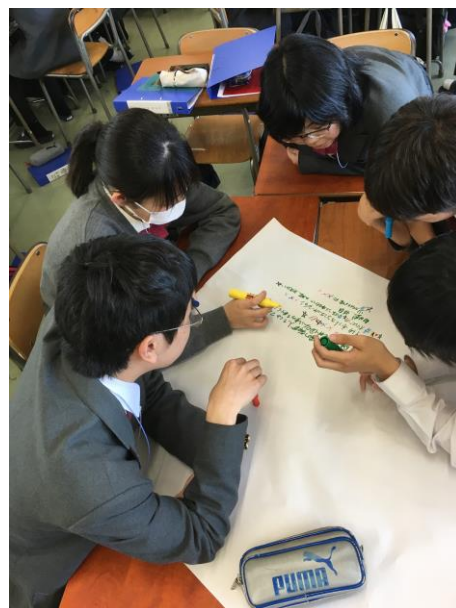
- ① 世界とのつながり(ブレンストーミング)…身の回りの物で世界とつながっていると思うものをグループでA4用紙にできる限り書き出した。
- ② 発表…各グループから「世界とつながっているもの」を2個ずつ発表した。
- ③ まとめ…各生徒は、どんなものが多かったか、なくなると困るものはどんなものか、書き出してみてもわかったこと、気づいたことは何かを、各自3つ選び、A4用紙に文章化した。
- ④ 共有…書き出した内容をグループで共有した。



## ● 第3回 開催概要 日時:2019年5月7日(火)

### 1. グローバル化の光と影①ーグローバル化の恩恵

- ① グローバル化の説明…ファシリテーターが、「グローバル化」という言葉の定義を次のように説明した。  
「グローバル化」とは、「人、物、お金、情報などがより遠くまでより早くより大量に行き来が可能になった時代のこと。」である。
- ② グローバル化の恩恵(派生図)…世界がグローバル化したことによって日本の私たちが得していること(恩恵)やメリットだと思うことをグループで協力して模造紙に派生して書き出した。
- ③ なくなったら困るもの…グローバル化による恩恵やメリットのうち、各自でなくなったら困るもののトップ3に×印をつけた。
- ④ アイデアの共有…各グループの模造紙を回し読みし、各自で「自分たちのグループでは出なかったもので、共感できるもの」に☆または♡印をつけた。回し読み後、自分たちの模造紙を戻し、☆または♡印を確認した。
- ⑤ 活動のふりかえり…ファシリテーターは、「個人よりグループ、1グループより複数グループで考えるとアイデアが増えること」、また、「このグローバル化した世界にあっては、どの国もその国だけで成り立っているわけではなく、私たちの暮らしや社会は、世界の様々なものにつながっていること」を伝えた。



### 2. グローバル化の光と影②ーグローバル化の課題

- ① グローバル化の課題…「グローバル化した世界が抱えている課題」といえば何かグループで考え、A4用紙にリストアップした。各グループで出された課題をグループごと1つずつ発表した。
- ② 地球の数字・日本の数字…配付された資料を各自読み、印象に残った部分に下線を引いた。